

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立橋北小学校

校長 東 せい

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- (1) 地域とともにある学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら地域コミュニティづくりを推進します。
- (2) 教育活動を学校評価に基点を置いたものとし、そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- (3) 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々の活動を継続・発展させ、「地域とともに子どもを支える学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

①地域の教育力を生かした特色ある教育活動

今年度は、昨年度がコロナ禍のため地域の学習ボランティアの方を学校に招いての教育活動を進めることが困難であったことを反省とし、教育活動を行うことができる期間を有効に活用し、可能な限りの支援を得ることができました。

「図書ボランティア」の方には、図書館の掲示物の作成（壁飾り）や館内の整理整頓等に取り組んでいただきました。毎月の季節に合った掲示物は、子どもたちの図書館に対する思いを深めることとなり、より一層、読書への関心が高まることにもつながりました。

地域と連携して行う防災学習では、PTAの皆さんや地域の方々に講師となっただき、防災に関する様々な学習や体験の支援をしていただきました。この学習では、防災に関する知識・技能を学ぶだけでなく、様々な体験活動を取り入れていただき、地域や保護者の方々と子どもたちが交流を深めるとともに、防災意識を高める貴重な機会にもなりました。

5年生は校区にある田んぼをお借りし、お米作りを体験しました。毎年、お米作りを通して、子どもたちは、季節を感じたり、自然と触れ合ったりするとともに、地域の方々と交流を深めながら、お米作りに取り組む苦労や喜びを知る機会となっていました。今年度は、田植えと精米の体験をすることができましたが、稲刈りについてはコロナかによる休校期間であったため、タブレットを用いてのライブ配信を行いました。また、成長の様子や世話などは写真やビデオを通して学ぶことになりました。今回、収穫したお米は全校児童へ配付



して地域の米作りの啓発に結びました。

地域の方々の協力を受け、伝統工芸万古焼をはじめ様々な地域素材を活用した体験学習を行いました。中でも、「ばんこの里会館」の方にご協力いただき、3年生で万古焼体験、4年生で絵付け体験、6年生で卒業制作（万古焼体験）を行うことができました。また、2年生の校区探検では、地域のいろいろな施設（お店や工場等）を見学させていただき、いろいろなお話を聞かせていただくこともできました。

②保護者・地域住民の意見を反映した学校運営や教育活動

（学校行事の支援～運動会の準備・後片付け～）

今年度の運動会も、昨年度に引き続き、準備と片付けにPTAをはじめ地域の方々の協力をしていただきました。中でも、コミュニティスクールの委員さんに声をかけたところ、各自治会をお願いをしてもらい協力を得ることができました。

③運営協議会会議運営の工夫

今年度もコミュニティスクール（CS）の組織づくりと活動方針についての検討を進めました。会議の中で頂いた意見は、学校づくりビジョンの達成に向けての実践へ生かすこともありました。来年度は、学校・CS・ボランティアが一体となって活動を進めるとともに、振り返りも行ってより充実した活動となるようにしていきます。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

今年度は限られた中でも、地域の方々に学習活動・体験活動の支援や学校の環境整備等へのご協力をいただきました。地域の方々との関わりを大切にしたい体験活動や地域資源を活用した学習は、地域のことを知り、地域に住む方々の思いややさしさに触れ、自分たちの地域を大切にしようとする心を育むことになりました。

今年度は地域のボランティア団体との連携や活動計画の作成を進め、地域の「すくすくサポート」を活性化することができました。また、その際には、運営協議会での話題が実現に繋がったこと、これまで続いていた学校への支援活動が再開したこと等があり、来年度への活動へと繋げることができました。また、協議会の組織の確立や活動内容についての検討も進めました。

コミュニティスクール運営協議会は、自治会長・民生委員・学習ボランティア・PTA役員等10名の委員さんでの構成としました。地域の様子や学校に関わっていただいている方の感想・保護者の思いなど、運営協議会では、学校教育活動に対してさまざまなご助言やご提案もいただきました。中でも、防災学習を更に充実させていくためのご意見、子どもたちの自尊感情を高めていくために学校・地域・家庭がどのようなことに気を付けていかなければならないか、また、どんなことができるのか等のご意見など、今後の教育活動に活かしていくべき提言でした。

3 今後に向けて

地域の方々や運営協議会委員さんが参画して、学校の授業やさまざまな活動に支援をいただいたことは、子どもたちの学力向上だけでなく、思いやりや優しさを育てることもつながりました。今後も、地域学習や体験学習を更に充実していけるよう、実践を振り返り、活用方法や年間計画を引き継ぎながら、地域・保護者との連携の取り組みを

進めていきたいと考えています。

運営協議会の開催に関しては、昨年度と同じ回数を設定することができた。その中でも、学校教育活動に対してさまざまなご意見をいただくとともに、授業参観や学校公開等の機会を捉えて、学校の現状を把握していただき、年度末には学校関係者評価をいただきました。いただいたご意見やご示唆は、来年度の教育活動に反映する予定です。さらに、より有意義な会議となるように内容や回数などについて検討を加えていくとともに、今後も、学校づくりビジョンに沿って、地域とともにある学校づくりを目指し、取り組みを進めていきます。

